

# 政府が環境対応車の新計画 天然ガス車が170万台に

中国で天然ガス車の普及が急速に拡大している。

エンジンや車両の生産拡大など関連産業が活気づいてきた。

(王 長君・NTTデータ経営研究所 社会・環境コンサルティング本部 シニアスペシャリスト)

中国政府は今年7月、「省エネ・新エネ自動車産業発展計画」を公表した。電気自動車やハイブリッド車を重点育成対象とする一方、天然ガスなどガソリンの代替燃料を使う自動車にも言及した。

中国の天然ガス車の保有台数は昨年末時点で148万台に達しており、「新エネ自動車」では最も成長性が高い。急成長の背景には、環境や資源の安全保障の面での優位性に加えて、政策の支援がある。

中国の天然ガス車はガソリン車と比べて、CO<sub>2</sub>排出量を90%、NO<sub>x</sub>（窒素酸化物）排出量を30～40%、SO<sub>2</sub>（二酸化硫黄）を70%低減し、ディーゼル車と比べ粒子状物質の排

出が少ないなど、環境性能に優れる。

資源の安全保障も確保した。既に西北、東北など国内パイプラインのほか、海外からの輸入パイプラインも整備。昨年末時点で天然ガス配送パイプラインの総距離が5万km、生産能力が1日あたり996万m<sup>3</sup>となっている。政府の推計によると、2015年の天然ガス供給量は2600億m<sup>3</sup>になる見込みで、天然ガス車の利用拡大に十分な量がある。

中国石油経済技術研究院の推計では、2015年の天然ガス車の保有台数は170万台、天然ガスの使用量は約235億m<sup>3</sup>を見込む。国内の天然ガス総消費量のわずか9%である。31省の合計2084カ所に天然ガス供給設備を設置し、長距離の運輸にも対応できるネットワークを構築した。

天然ガス専用のエンジンや車両の生産が拡大しつつあり、関連産業も活気づいてきた。200～480kWの天然ガス専用エンジンを国産化。濰坊ディーゼル社の生産量は3万機に達している。陝西自動車は、年間生産能

力が5万台の天然ガストラックの生産ラインを整備した。中国トラック、第一自動車、東風自動車、北京ベンツ自動車、同力重工も生産能力の拡大を計画中だ。

政府も支援政策を打ち出している。「第12次5カ年省エネ・汚染物質削減計画」で、天然ガス車・船舶の利用拡大を盛り込んだ。天然ガストラックを購入する場合、1台あたり約8万元（約100万円）の補助金を適用する。地方では、河南省が天然ガス車の利用を推進することを決定。福建省は省内の高速道路の30カ所に天然ガス供給設備を設置し、天然ガス供給ネットワークの構築を目指す。広州市は、今後2～3年間にすべての公共バスを天然ガス車へ切り替える計画である。

天然ガス車は電気自動車に先行して普及している。とはいえ、現在は、ガソリン車やディーゼル車を改良したものがほとんど。安全やエネルギー効率の面で課題があり、海外からの技術導入が期待される。

王 長君

1999年3月愛媛大学大学院博士課程修了博士号取得。その後、環境コンサルタント会社を経て2002年7月より現職。中国環境関連研究論文、著書、学会発表など多数

## 政府が天然ガス車の普及を後押し

### ■ 中国の天然ガス消費量

